

LTE 応用低コスト車内ビジョン「Train Viewer+」を開発

株式会社総合車両製作所(J-TREC)は、JR 東日本新潟支社、(株)ジェイアール東日本企画新潟支店と連携して、LTE 応用低コスト車内ビジョン「Train Viewer+」を開発しました。

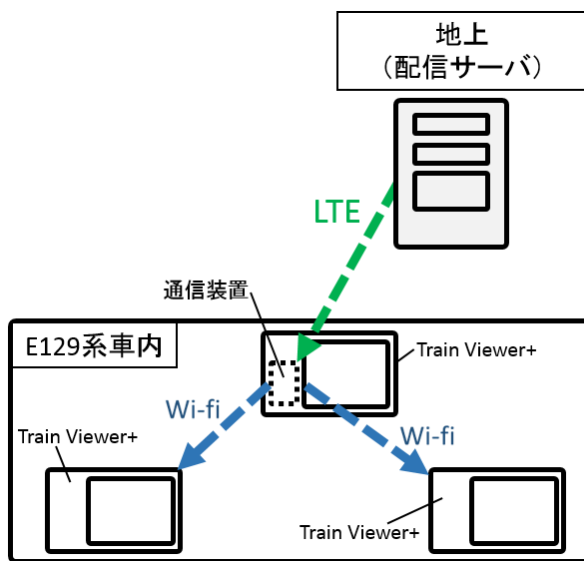
「Train Viewer+」は「大都市圏以外でも車内ビジョン装置を」というご要望から開発されました。運行情報・ニュース・天気予報・広告などのコンテンツが、地上サーバから本装置に配信されます。既存装置では車両の基幹伝送系によっていた情報通信を、本装置ではLTE 回線により無線化しました。情報伝送線が一切不要となり、車両の電源のみで動作します。配信サーバ側の遠隔監視による通信状態の把握が可能で、かつ部品交換も容易な構造としています。

2016年に開発した量産先行機の試験運用により、信頼性・保守性向上の改良を行い、量産機を開発しました。このたび2017年に、JR 東日本E129系向けに「Train Viewer+N (N:新潟向け)」を150セット(50両分)受注しました。

「Train Viewer+」は、お客さまへのサービス向上や地域活性化に貢献するものであり、今後広く普及を図ってまいります。



JR 東日本 E129 系向け「Train Viewer+N」



「Train Viewer+」配信の仕組み

■ 「Train Viewer+」概要

全長：690mm 全幅：43mm 高さ：299mm 重量：約 9.5kg 画面サイズ：20 インチ (フルHD)

※ 「Train Viewer+」「Train Viewer+N」は商標登録出願中です。